

科目名	英 語	英文表記	English	2011年3月18日			
科目コード	3003						
教員名：角田キャティー、Newell Timothy 技術職員名：				作成			
対象学科／専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		3年	必	学修	2単位	演習	通年
目標 及び 評価方法	目標項目			評価方法及びその割合			
	①・英文多読を更に継続することで自律的な学習態度を確立し、YL（読みやすさレベル）1.8程度の図書を読めるようにする。			①・定期試験25% x 2 = (50%)			
	②・基礎的な英文法学習を継続し、多読と併せてTOEIC BridgeのReading部門に対応できる基礎的読解力を身につける。			②・TOEIC Bridge IP Reading (20%) ・文法小テスト(20%)			
	③・授業内外において1週間に6千語以上読めるようにする。			③・読書総語数及び内容(10%)			
高専 目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称		全プログラム
	◎	○	○		JABEEプログラム教育目標		
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・易しい英米の多読図書（Graded Readersや児童書）を授業の内外で継続して読む。 ・読む多読図書のレベルを徐々に上げていくようにする。 ・基礎的な英文法を学習することにより、その定着をはかる。 						
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「めざせ100万語！読書記録手帳」（SSS英語学習法研究会）・Basic Grammar In Useの英文法編 ・多読図書教材—Oxford Reading Tree, Longman Literacy Land, Oxford Bookworms, Penguin Readers, Cambridge English Readers, Macmillan Readersなど 						
授 業 計 画							
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容			予 習 項 目	
1	本科目の概要説明	2	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを用いて、授業の到達目標や評価方法、使用教材・参考図書等の説明をおこなう。 ・授業内外での継続的かつ自律的多読の学習法と英文法学習及び評価方法等について解説す 				
2	<ul style="list-style-type: none"> ・多読教材を用いた各自の学習 ・Basic Grammar In Use英文法 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・英語(1・2年)に比べ、本科目では授業時間内に多読のみに費やす時間が減少する。授業外を含めた自律的かつ継続的な多読学習の確立を目指す。特にレベル上げに低迷している学生に対しては、毎時間ごとの個人指導を行う。 ・YL1.8までの図書を中心に日本語に訳さず毎分100語以上の速さで、45分以上継続して読むことができるようにする。 				
3		2	<ul style="list-style-type: none"> ・読んだ本は読書記録手帳にYL、総語数、シリーズ名、感想を記録する。 				
4		2	<ul style="list-style-type: none"> ・英文法の学習は2年後期に引き続きBasic Grammar In Useの英文法編を使用し、これまでの多読学習で身につけた英語の体系化を図る。 				
5		2	<ul style="list-style-type: none"> ・各文法項目について学生に説明し、2-3 Unitsずつ確認小テストを実施する。 				
6		2					
7		2					
8		2					
9		2					
10		2					
11		2					
12		2					
13		2					
14		2					
15		2					
期末		前期末試験	[1]				
16	<ul style="list-style-type: none"> ・多読教材を用いた各自の学習 ・Basic Grammar In Use英文法 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み明けは、前期の読書レベルより一段下の多読教材から読み始める。 ・前期の授業内容を踏襲し、自律的かつ継続的な多読の定着を図る。 				
17		2	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の体形化を図るため基礎的な英文法学習を継続する。 				
18		2					
19		2					
20		2					
21		2					
22		2					
23		2					
24		2					
25		2					
26	<ul style="list-style-type: none"> ・多読教材を用いた各自の学習 ・Basic Grammar In Use英文法 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み明けは、前期の読書レベルより一段下の多読教材から読み始める。 ・前期の授業内容を踏襲し、自律的かつ継続的な多読の定着を図る。 				
27		2	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の体形化を図るため基礎的な英文法学習を継続する。 				
28		2					
29		2					
30	2						
期末	後期末試験	[1]					
学習時間合計		60	実時間			50	
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） Alt+Enterで改行							

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)